

学校だより

令和 元年 5月13日

第5号

四日市市立小山田小学校

家庭訪問ありがとうございました！

過去最長となった10日間の大型連休が終わり、子どもたちも普段の学校生活のリズムを取り戻してきました。先週は、お忙しい中、家庭訪問にご理解、ご協力いただきありがとうございました。時間も限られていて、なかなか十分お話しすることは難しかったかと思いますが、これを機会に保護者の方との信頼関係をさらに深めていきたいと思えます。今後も何か心配なことがありましたら、遠慮なく担任または学校に連絡していただくようお願いします。

算数科 少人数指導について

昨年度に引き続き、県の「『わかる授業』確かな実践事業」推進校の指定を受けました。それにともない、算数科において、1・2年生は、すべての授業をチームティーチング(TT)で行い、3～6年生は、単元や領域に応じて、児童が自分の学習の状況や習熟度に合わせて、主体的に学び方を選択できる少人数グループの学習形態の授業を行い、「個に応じたきめ細かな指導」の充実に努めています。



4/26 5年生 算数少人数(TT)学習

HEFリチャード先生の授業・今年度の外国語活動

昨年度に引き続き、HEF(派遣英語指導員)のリチャード先生に来ていただき、英語活動・授業をしていただいています。3年生の授業では、初めのあいさつとエクササイズで曜日や天気、happyやsleepyなどの今の気分の言い方をリチャード先生に続いて発表しました。さらに「I'm from～(国名)」(～出身です)の言い方をデジタル教科書を使ってクイズ形式で楽しく学んでいました。みんなしっかり声を出していたことと、リチャード先生の「listen」の声ですぐに静かになって聴けていたこと、1限ほとんど英語で過ごしていたことに感心しました。6年生の授業では、「January」から「December」の12か月と日付の言い方を英語の歌に合わせて復習した後、「My special day is～」や「When is your birthday？」などの文を用いて友だち同士で会話する練習をしました。

リチャード先生には、この日を含めて3～6年は、年間6回(1年は3回、2年は2回)授業をしていただきます。

来年度から本格的に始まる小学校の新学習指導要領では、3・4年生は、外国語活動として、主に「聞くこと」「話すこと」の音声を中心とした言語活動に慣れ親しむこと、5・6年生では、外国語科として、加えて「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむとともに、基礎的技能を身につけることが求められています。



上段が3年生、下段が6年生の授業

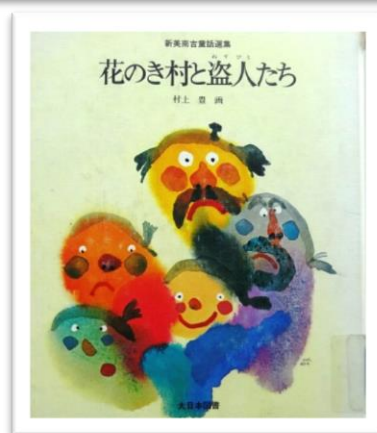
5・6年生は、学級担任と英語専科教員も加わりTTで外国語活動の授業を行います。

本市では今年度から3・4年生で年間35時間、5・6年生で70時間の授業を先行実施しています。それにともない、本校では、時間割上の授業時間を増やすのではなく、3年生以上は、火・木・金曜日の朝の学習の時間(15分×3=45分)を国語の帯授業として設定し、国語の授業の1コマを英語の授業に当てています。

楽しかった観劇！

8日（水）の3限目の時間に、劇団「うりんこ」の方を招いて、全校で観劇をしました。愛知県半田市出身の児童文学作家、新美南吉の童話「花のき村と盗人たち」を原作とした『はなのき村』という演劇でした。昔、あるところに心の良い人々ばかりが住むはなのき村という村があり、村で盗みをしようとしてやってきた弟子の少年を連れだした盗人が、出会った村人に生まれて初めて信用されて改心し、村の役人に盗人であることを打ち明け、それまで盗みに入った家々に謝りに行くという内容でした。人は人から信用され温かく受け入れられると、とてもうれしい気持ちになり、その想いに応えたいと、人との関わりがあるからこそ、よりよく変わり成長することができるというテーマの劇でした。

原作とは、脚色の違うところもありましたが、子どもたちは、ユーモアあふれる演技に笑ったり、場面によっては真剣に見入ったりと、劇の世界に引き込まれていました。観終わった後には誰もが穏やかな優しい気持ちになるような素敵な演劇でした。終了後には、子どもたちからも「とても面白かった。」「楽しかった。」「泣きそうになった。」等の声が聞かれました。図書室に原作がありますので、興味のある児童は、ぜひ借りて読んでみてほしいと思います。



うね 芋畑の畝をつくりました！

晴天に恵まれた先週、5年生が7日（火）、2～6年生が10日（金）に、芋苗を植える準備として、芋畑の畝づくりをしました。2年生は、初めての畝づくりでしたが、小さいスコップで楽しみながら土を盛り上げたり、みんなで協力してマルチシートをかぶせて固定したりしていました。3～5年生は、昨年度までの経験を活かして、自分たちで手際よく作っていました。6年生は、大きい大人用のクワも使って、自分たちの分だけでなく1年生と学校の分の畝まで作ってくれました。毎年、芋づくりでお世話になっている須藤成則さんが、前もって耕耘機で耕したり、草を刈ったり、特に今年は、米のもみ殻を土に混ぜ込んだりしていただいたおかげで、柔らかく栄養たっぷりの芋畝ができました。今週は、各学年サツマイモの苗を植えます。これから自分たちで学年の畝の草取りなどの世話をして育てます。秋においしい立派なサツマイモを収穫するのが今から楽しみです。

写真は、上段が左から2・3・4年生、下段が左から5・6年生とお世話いただいている須藤成則さん

